

平成30年度 報酬改定で 看取り介護 加算が拡充

【講師】

小川 利久氏
株式会社エイジング・サポート
代表取締役

小林 悦子氏
一般社団法人
生活を支える看護師の会 会長
准看護師 介護支援専門員

今後の事業継続のために不可欠となる施設での[看取り]のノウハウを学ぶ。
看取りに必要な理念の明確化&介護スタッフのマネジメント体制を見直す

有料老人ホーム、特養、老健etc. [看取り]を 介護施設における重視した体制構築講座

- 医療連携、スタッフ教育、家族の同意…看取りのために必要な項目を整理
- ワークショップ形式で施設の課題を抽出し、今やるべきことを把握
- 看取りに至るまでの具体的なプロセスを豊富な事例から学ぶ

ご案内

多死社会と言われるほど高齢者の死亡者数は今後増加し、ピークとなる2030年代には終末期ケアを受けられない「看取り難民」が47万人にも及ぶと推定されています。しかも病床数の削減や、病院から介護への政策的誘導もあって、介護施設における「看取り」の重要性がより一層高まってきています。

介護施設にとって看取り介護を行なうことは、加算の取得はもちろん、スタッフのモチベーションの向上、家族および他の入居者への安心感の提供、入院日数の抑制による居室の稼働率アップなどにつながってきます。

そこで、自施設で看取りを重視した体制を構築するために何が必要かを問い直すとともに、医師・看護職員との連携、スタッフ教育、家族の同意、ご遺体のエンゼルケア(死後処置)、家族に対するグリーフケア(悲嘆ケア)、葬儀社との連携など、看取りに必要な条件を整理・解決していくことが不可欠です。

本セミナーは、介護施設における看取り援助を中心としたシニアビジネスのコンサルティングを行なう(株)エイジング・サポート 代表取締役 小川利久氏と多くの施設の看取り介護サポートを行なう一般社団法人生活を支える看護師の会 会長 小林悦子氏より、特養、有料老人ホームなど介護施設における看取り体制構築のために必要なマネジメント手法について、実際の取り組み事例を紹介するとともに、ワークショップ形式を交えて学んでまいります。

日時 2018年2月8日(木)13:00~17:00

会場 東京ガーデンパレス
東京都文京区湯島1-7-5
TEL 03-3813-6211(代)
※詳しい会場案内図は参加証にてお知らせいたします。

参加費 43,200円(1名様につき)
(消費税及び地方消費税3,200円を含む)
●同一申込書にて2名様以上参加の場合
38,880円(1名様につき)
(消費税及び地方消費税2,880円を含む)
※テキスト・コーヒー代を含む

主催 総合ユニコム株式会社
月刊シニアビジネスマーケット
〒104-0031
東京都中央区京橋2-10-2 め利彦ビル南館6階
TEL. 03-3563-0025(代表)

ダイレクトメールの送付先変更・中止をご希望者は、お手数ですが、封筒ラベルにご要件を記入の上、弊社企画事業部(FAX.03-3564-2560)迄ご連絡ください。

※弊社ホームページからも、本セミナーはお申込みいただけます!
<http://www.sogo-unicom.co.jp>

参加申込書

介護施設における[看取り]を重視した体制構築講座

●会社名(フリガナ)	●貴社業種
●所在地(〒)	●振込予定日(月 日)
TEL. ()	●当日現金支払い希望... <input type="checkbox"/>
FAX. ()	●ご担当者名()
●出席者名①(フリガナ)	●所属部署・役職名
●E-MAIL	
●出席者名②(フリガナ)	●所属部署・役職名
●E-MAIL	

0-0320180204-050

お申込み先 FAXフリーダイヤル ☎ 0120-05-2560
※FAXフリーダイヤル不通時はFAX.03-3564-2560迄おかけください。

お問合せ先 ▶総合ユニコム(株) 企画事業部 TEL.03-3563-0099(直通)

●お申込み方法

- ・左記「参加申込書」にご記入後、上記FAXにてお申込みください。参加者宛に「参加証/請求書/銀行振込用紙」をご郵送いたします。「参加証」は当日ご持参いただき、会場受付に「お名刺1枚」と共にお渡し願います。
- ・開催直前や当日のお申込みもお受けいたします。その場合は、FAXにて「参加証」をご送付いたしますので、必ずFAX番号の明記をお願いいたします。なお、お支払方法につきましては、別途ご連絡をさせていただきます。

●参加費のお支払について

- ・参加費は「請求書」到着後、原則として開催3営業日前迄にお振込み願います。
- ・お振込みが開催後日になる場合は、左記「振込予定日」欄にご記入ください。
- ・お振込手数料は貴社にてご負担願います。
- ・当日現金でのお支払いも可能です。「当日現金支払い希望」欄に印を記入願います。

●お申込者が参加できない場合について

- ・代理者にご出席いただけます。既送の「参加証」と「代理者のお名刺1枚」をご持参のうえ、当日会場受付までご来場ください。

●キャンセルについて

- ・開催3営業日前(土日祝日、年末年始を除く)迄に、弊社宛に「会社名/氏名/電話番号/返金先銀行口座(振込済みの場合)」を明記の上、FAX.03-3564-2560にて必ずご連絡ください。
- ・返金手数料として2,000円(1件毎)を申し受けます。なお、開催2営業日前以降のキャンセルにつきましては、全額をキャンセル料として申し受けます。その際には当日配布資料を参加者宛にご送付いたします。

●その他ご連絡事項

- ・お座席は受付順を基本に当方にて指定させていただきます。
- ・会場内は禁煙です。講演中の録音・録画、PC・携帯電話等の使用はお断りいたします。
- ・ご記入いただいた個人情報は、弊社商品案内ならびにセミナーの適切な運営、参加者間の交流促進のために利用させていただきます。
- ・主催者や講師等の諸般の事情により、講師変更や開催を中止する場合がございます。その際には弊社より参加者にご連絡させていただきます。なお、その際の交通費の払い戻しやキャンセル料の負担はいたしかねますので、予めご了承ください。

介護施設における「看取り」を重視した体制構築講座

セミナープログラム

13:00~17:00 (※講演途中でコーヒー休憩および随時休憩を挟みます)

I. 介護施設で「看取る」ことの重要性

1. 自施設で入居者を看取ることができますか？
——施設の現状分析
2. 看取りのために必要な経営者・管理者としての考え方
——理念・ビジョンの明確化と共有
3. 看取りのために必要な現場のイノベーション
——マネジメント体制の見直し

II. 看取りに関わる加算の算定要件と取得のためのポイント&報酬改定による影響と対策

1. 看取り介護加算、ターミナルケア加算の算定要件
○施設類型ごとのケーススタディ
——特養、介護付・住宅型有料老人ホーム、老健など
2. 平成30年度報酬改定による影響と対策

III. 看取り体制を構築するうえでの基本的条件

1. 看護師・医師との適切な連携体制の構築
2. 経営者・管理者の意識改革と現場スタッフへの教育
3. 利用者へのアセスメント
4. 家族の同意
5. ご遺体の処置(エンゼルケア)
6. 葬儀社との連携

IV. **ワークショップ** 看取り介護を行なうために必要なマネジメントとは？

※現場での看取りやスタッフのマネジメントに関する課題を
発表していただき、解決に向けた方策を探ってまいります。

V. 看取り介護のケーススタディ

1. 医療を求めた家族が看取りへ辿り着くまでのプロセスとその結果
2. 食べることができなくなった人への看取り
3. 介護職員に勇気を与え、家族へ達成感をもたらした看取り

VI. 質疑応答

講師プロフィール



【第I~IV講座】

小川 利久 (おがわ・としひさ)

株式会社エイジング・サポート 代表取締役

1981年新潟大学農学部林学科森林計測学教室卒業。現(株)長谷工コーポレーション入社、住宅販売企画、有料老人ホーム・シニア住宅の事業企画等を担当、民間企業創生期に有料老人ホームを立上げ。その後、シンクタンクにてシルバー事業等の企画、コンサル業務に携わる。複数の社会福祉法人の法人本部長、特養の施設長を経て現職。2013年シンガポールで開催されたAAIF2013 (AGEING ASIA INNOVATION FORUM)にて部門別 MAJOR AWARD 受賞。東北大学加齢医学研究所附属スマート・エイジング国際共同研究センター東京分室スマート・エイジングカレッジ(SAC)東京事務局長兼務。著書に『月刊シニアビジネスマーケット』(連載、総合ユニコム)、『いのちをつなぐ看取り援助～特養の介護を支える経営と看護から』(共著、エイデル研究所)などがある。



【第V講座】

小林 悦子 (こばやし・えつこ)

一般社団法人

生活を支える看護師の会 会長

准看護師 介護支援専門員

10年務めた幼稚園教諭から看護職へ転身。2006年ユニット型特別養護老人ホーム(東京都足立区)医療サービス部門マネージャー、13年ユニット型特養施設長(横浜市都筑区)を歴任。15年高齢者介護施設、在宅医療等にて働く看護師による看護師のための「生活を支える看護師の会」設立。17年法人化、一般社団法人生活を支える看護師の会会長に就任。現在は主に在宅医療の現場で訪問医療を実践。加えて特養等における看取り援助、看護業務、摂食嚥下機能評価サポート業務、セミナー講演等を行ないながら、幅広く「看取り援助」の普及活動に携わる。